ANIJO MATHEW 博士による特別講義

-イリノイ工科大学 デザイン学部長-

講演タイトル 学ぶ立場からリーダーへ -デザインが向かうべき道--From Learners to Leaders: Where Must Design Go Next.-

日時 : 2024年4月1日(月) 13:30-15:00

場所 : 6階ラーニングコモンズ

イリノイ工科大学デザイン学部長、ANIJO MATHEW 先生が、梅田キャンパスに来られます。この機会に講演会を開催して、昨今のデザインを取り巻く事情をお話しいただきます。 どなた様でも参加できます。 貴重な機会となれば幸いです。 是非、ご参加ください。

Dr. Aniho Mathew is the dean of IIT, which has an 86-year history that began with the founding of the New Bauhaus by Moholy Nagy. Dr Anijo Mathew proposes that the history and future of design practice are deeply intertwined with changes in design pedagogy. As we look to the future, Dr Mathew identifies the forces that will empower design practice and education to evolve again. Design — in all its forms — must grapple with these forces and develop new ways of acting. What is the future of design practice? How do we set up academic institutions that can respond to this massive change? What can we learn from design history to discover new futures for design practice and design education?

アニホ・マシュー博士は、モホリ・ナギーによるニューバウハウスを創立に始まる 86 年の歴史を持つ IIT デザイン学部の学部長である。 博士は、デザイン実践の歴史と未来はデザイン教育学の変化と深く絡み合っていると提唱し、デザインが実践と教育を再び進化させる力となると指摘しています。 デザインは、その機会を見出し、新しい可能性を見出す必要があります。 デザイン実践の未来はどうなるでしょうか? この大きな変化に対応できる学術機関をどのように設立すればよいでしょうか? デザイン実践とデザイン教育の新たな未来を見つけるために、デザインの歴史から何を学べるでしょうか?

問合せ:W科福原